

JA職員の 使命と誇り



目次



1 現状認識

2 あるべき姿

3 JAぎふの取り組み

4 職員として意識してほしいこと

協同組合の仕事

組合員とともに



協同活動を行い



組合員の暮らし向上を
目的として



事業を行い



組合員の期待に応える



40年前の岐阜市農協の状況

私が入組した1983年当時の農協の状況…

協同組合理念についての認識



- ・認証試験だけの知識
- ・理論は理論、現実には現実
- ・両者は違って当たり前



銀行に負けるな！
保険会社に負けるな！



与えられた目標をいかに達成
できるかを考えていた



**自分本位の推進をしても、社会全体
が右肩上がりに成長している時代には
それなりに成果もでた**

当たり前の世界だった

協同組合とは？



協同組合について、上司や同僚と特別に議論することもない

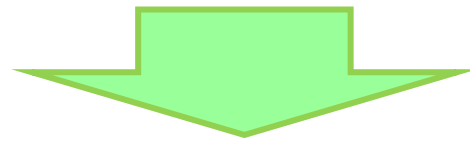
「協同組合理念」



上司が「協同組合理念」を知らないわけがない



それについて話すこともない



40・50代の上司にとって、考えるまでもない当たり前のことだった



中部経済圏の一角として発展



農業生産額と農業従事者の減少



金融共済事業のニーズの増加



農協は営農経済事業よりも
金融共済事業に傾注した



環境変化の理解

協同組合を体現していた世代が定年を迎え退職

バブル崩壊後の長引く低成長時代

インターネット環境の普及による情報の氾濫

少子高齢化の加速と人口減少



頑張っても事業は伸びなくなり
理念と現実のギャップが拡大

リアリティショック



協同組合の学びなおし

きっかけ

JAマスターによる協同組合についての学びなおし



「協同組合とは何か」ということを考えることになった

気付き

自由競争(市場競争)に身をおき我武者羅に競争してきた



いつしか、我々のアイデンティティを忘れていた…





「協同組合のアイデンティティに関する ICA 声明」

〈定義〉

協同組合は、協同で所有し民主的に管理する事業体を通じ、共通の経済的・社会的・文化的ニーズと願いを満たすために自発的に手を結んだ人々の自治的な組織である。

〈価値〉

協同組合は、自助、自己責任、民主主義、平等、公正、そして連帯の価値を基礎とする。それぞれの創設者の伝統を受け継ぎ、協同組合の組合員は、誠実、公開、社会的責任、そして他人への配慮という倫理的価値を基礎とする。

(出典:「21世紀を拓く新しい協同組合原則」1995年9月23日のICAマンチェスター大会全体総会で決定)

協同組合と株式会社の違い

① 綱領・理解の違い

〈株式会社の綱領とJAの綱領とは**アプローチが異なる**〉

株式会社の綱領

自らのサービスや製品を使って社会に貢献する

協同組合の綱領

人の暮らしにフォーカスし人と人とのかかわりを大切にする



協同組合が素晴らしくて株式会社が劣っている
株式会社が新しくて協同組合が古臭い



株式会社の経営理念

収益獲得を目的とする株式会社でも素晴らしい経営理念を持っている

パナソニック

「産業人たるの本分に徹し、社会生活の改善と向上を図り、世界文化の向上に寄与する」

ホンダ

「地球的視野に立ち、世界中の顧客の満足のために、質の高い商品を適正な価格で供給することに全力を尽くす」

京セラ

「全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献すること」



※各社ホームページより

どれも素晴らしい経営理念

協同組合と株式会社の違い

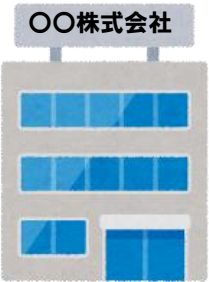
②従業員の働きの違い

〈株式会社〉

社員



という労働者



与えられた職務を全うする



→人のくらしに直接的に働きかける機会は乏しい

協同組合と株式会社の違い

②従業員の働きの違い

〈協同組合〉



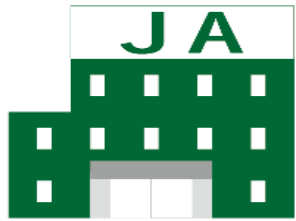
職員



という労働者であり運動者であり連携者



プランナー・コーディネーター



組合員とともにコミュニティを創る



協同組合の特徴

JAは

人と人のコミュニケーションの上に成り立っている



「人と人の組織」といわれる所以であり強みである

その特色に立ち返り行動することで、職員も組合員も幸せを感じることができ、その結果として多くの組合員の事業利用に繋がると確信する

協同組合の仕事

協同活動の実践

協同組合が行う活動

- ・各種セミナー
- ・食農教育活動
- ・夏祭り・収穫祭
- ・ボランティア活動
- ・女性部活動
- ・小グループ活動
- ・年金友の会
- ・住宅ローン利用者収穫体験
- ・園芸塾
- ・帰農塾

など様々な活動

対話
相談

協同組合の事業

→協同活動を通じ組合員が必要とする商品を提供することが組合の事業

- ▽ 資産相談事業
- ▽ 信用事業
- ▽ 共済事業
- ▽ 営農事業

手段

組合員の財産

組合員の生活

→私たちが提案した商品を組合員が納得して購入した結果、組合員の財産活用が活性化し、くらしが向上する

→組合員から信頼されることにより更なる組合事業の利用につながる

目的

きっかけ

職員育成：協同活動への参加
協同活動の企画→実行→クロージング

協同組合は何のためにあるのか



組合員の悩み事を
解決する



組合員・職員が
物心共に幸せになる



組合員と職員が
一緒になって
住みよい地域社会
コミュニティをつくる

JAぎふのフレームワーク

私たちは
組合員の期待に応えるために、支店が中心となり総合的な
サービスをもって、組合員の財産活用とくらしのお手伝いをします



日々の行動がフレームワークから
外れていないか常に確認する



職員の行動指針 フレームワークの活用

- ① 自らの行動が協同組合理念に合致しているかを確認すること
- ② 協同組合理念をベースに事業活動を行うという宣言である
- ③ 協同組合人として行動を起こす時、この行動は協同組合の理念にあっているかを測る物差しである



消費者と共に進む農業振興

地域の消費者のニーズにあったものを
地域の農業者が提供する

- 消費者の要望と地消地産の推進のための
コンソーシアムの設置 ※共同の事業体
- 消費者の約束事を決める



切り口は…

有機！

職員として 意識してほしいこと



他者から信用を得ること

➤➤ まずは如何に相手と関係をつくるかから考えてください



初対面の相手には、この人を信用して話しても大丈夫だろうか？
親身になってくれるだろうか？と不安を持ちます



関係が構築され相手が自分の味方だと思った時、「実はね…」と
話しが始まるのではないのでしょうか

信用されて初めて、話を聞かせてもらうことができます



これでフレームワークの80%が達成できたと思ってください



総合的なスキルの習得

次々 次に、自分の全能力を使って問題を解決することです



今の時代、皆さん方が肌で感じられている通り、自分本位の提案では結果は出ません

協同組合人には、話したいと思われる人間力と問題を解決できるスキルが必要です



「相談したが、解決してくれない」ではガッカリです…

総合事業の幅広い知識やネットワークを活用できるスキルの習得が重要となります



相手に寄り添う気持ち

役職や地位に関係なく信用から仕事は始まります
職場でも相手のことに親身になって行動してください



忙しそうにため息をつく



人が来ないように
忙しいふりをする

こんなことして
いませんか？



自分の仕事ではないと
拒絶する

忙しいから他の人に尋ねて
くれという



気分が悪いとき、忙しくて疲れているときなど知らず知らずのうちにそのような行動をしてしまった時も、**フレームワーク**を思い出してほしいと思います

協同組合のミッション

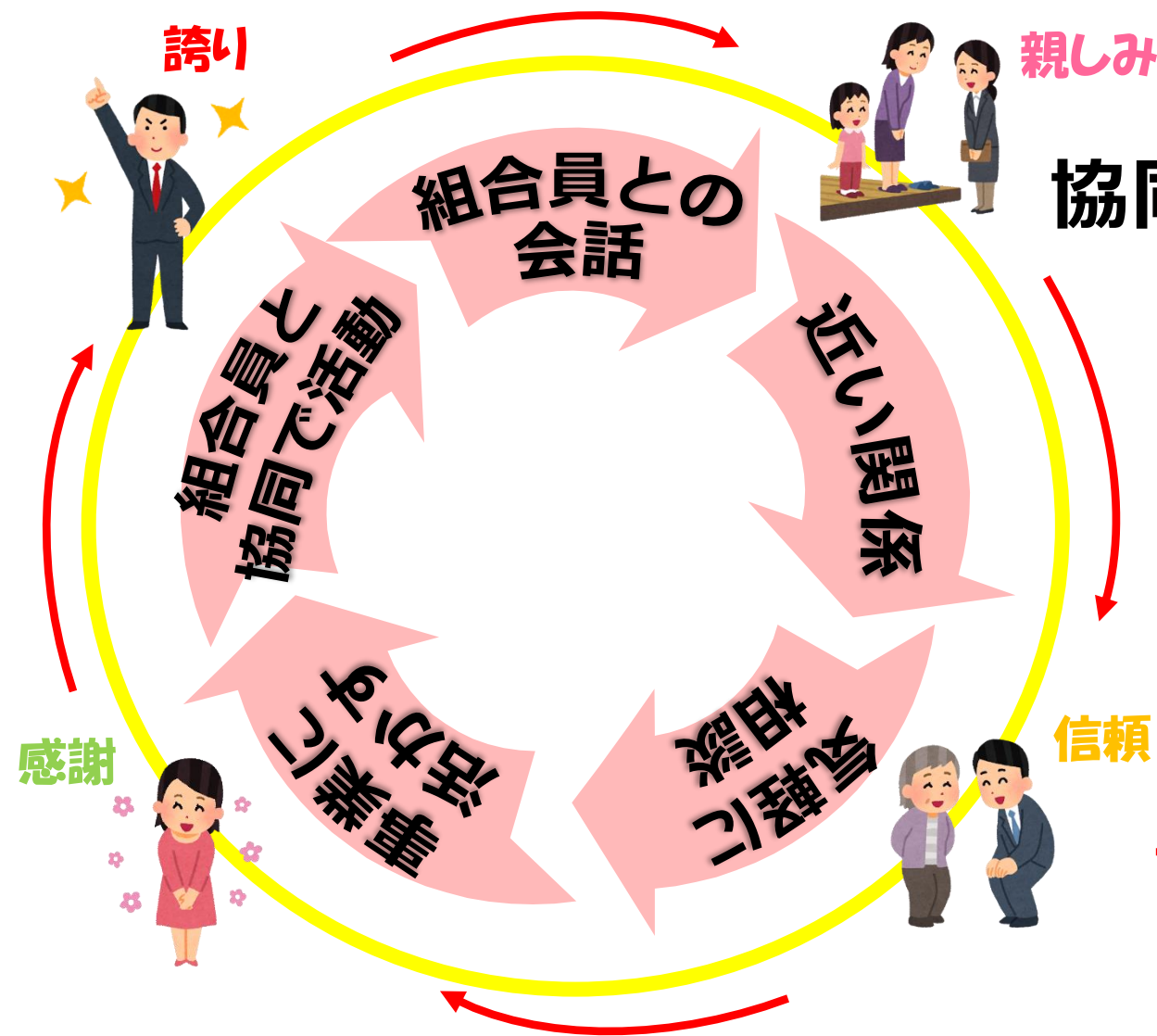
- ◆ まず、個々の組合員の財産活用と暮らしのお手伝い → 総合事業を通じ問題解決を徹底的に実践
- ◆ 協同組合理念を広め、組合員とともに地域社会の発展に貢献する



組合員・職員の物心両面のしあわせを実現する



JA職員の誇り



協同組合で働くということは自然と
正直・利他の心で活動する



自分のためだけでなく他者の
ためになっている

「ありがとう」と言ってもらえる

これこそが我々の誇り！！

**組合員を一人の人格として認め
相手の立場で考える**

**組合員の満足や感謝を得る努力をする
「ありがとう」と言ってもらった数だけ
協同組合人に近づく**



